



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第94号(2011年11月30日)



【エミレーツ航空の信用力はドバイ政府よりも上？】

ドバイを本拠地とするエミレーツ航空の信用力が、債券の利回りで測った限りはドバイの信用力を上回る事態になっています。

ドバイ政府が発行した債券と、ほぼ同時期に償還するエミレーツ航空の債券との利回りの格差は70ベースポイントまで広がり、これはエミレーツ航空が債券を起債した6月以来最大の格差となっています。この格差は8月時点では22ベースポイントほどでした。

エミレーツ航空は世界最大の航空会社の一つであり、先日もボーイングとの180億ドルにも及ぶ大型商談を発表したばかりです。

一方でドバイ政府は依然としてドバイ・ショックで失った投資家の信頼を取り戻しきれていないと見られています。

エミレーツ航空は1985年に就業を開始し、2年目は赤字だったものの、残りの年度は全て黒字を達成しており、業績の透明度、安定性などが市場に評価されているようです。

一方で欧州の債務危機等の影響を全く受けないということはありません。

グローバル経済の成長鈍化によって、航空会社は今年、来年に亘って利益が鈍化すると予想されています。



※ 写真はイメージです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【S&Pがエジプトを格下げ】

米格付け機関のS&Pは政治、経済の悪化を理由にエジプトの格付けを1段階下げてB+としました。同時に、同国の既に減少しつつある外貨準備について更にプレッシャーがかかるだろうとしています。

エジプトでは政治的な騒乱が再び起きており、同国の金融市場を揺さぶっています。また、本稿執筆時点では、月末に予定されている選挙がどうなるのかも不透明になっています。

軍部による最高評議会が民衆への武力による弾圧を容認しているかのようにも見えることもあり、スムーズな政権移行への見通しが弱まり、同国による資金調達も困難になるという見方があります。

【イスラム金融の拡大】

大手監査法人のE&Yが発行したレポートによれば、いわゆるイスラム金融の銀行資産は2012年にはグローバルで1.1兆ドルにも達する見込みだそうです。これは2010年と比較して33%の増加になります。

中東及び北アフリカにおいては過去5年間に年率20%程度で増加しており、今後もこの拡大が続くだろうと予測されています。

一方で規制、税制、法制面での不備などがイスラム金融の業務展開上での複雑性を増し、高コストになることなどが懸念されています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アブダビの観光産業が成長中】

アブダビは2011年に200万人の訪問者を迎えることを目標としていますが、その達成が見えてきました。先月は18万2,553人の訪問がありました。これは2010年の10月と比べて21%の増加にあたるそうです。年初来では約170万人の訪問者があり、前年度の同じ期間と比べて15%の増加にあたるそうです。

11月にアブダビでF1レースの開催があり、年末にも観光客の流入が見込まれることから、アブダビの観光当局は目標達成に自信を見せています。

【ドバイのスピード違反の取締り強化】

ドバイではスピードの制限速度を下げ、また、違反時の罰則を強くしようという動きが出てきています。当局の説明では、特に都市部における上限を下げることを計画しているようです。

ドバイでは「スピーディング・キル」と呼ばれる取締りキャンペーンが始まり、これは年末まで続くこととなります。昨年同様のキャンペーンを行った際にはスピードの出しすぎによる交通事故の死亡人数がキャンペーン中は半減しており、今年もパトロールなどを通じて同様の効果を狙っています。交通事故による死亡人数は昨年は152人に上りましたが、今年は今のところ118人に留まっており、今年を通じての死亡人数は125人から135人ぐらいの範囲に収まるであろうと警察当局は予測しています。

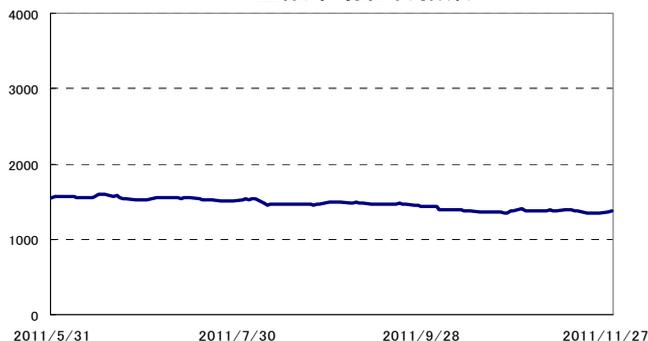


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

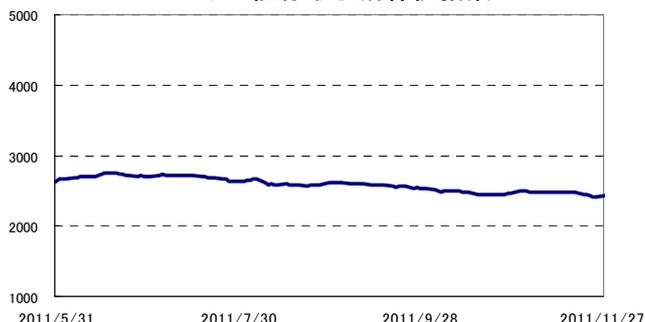


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

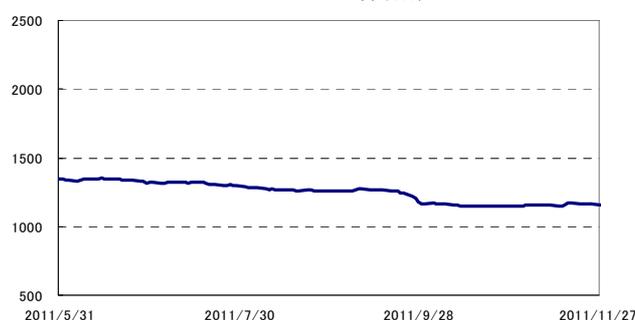
ドバイ金融市場総合指数



アブダビ証券取引所株価指数



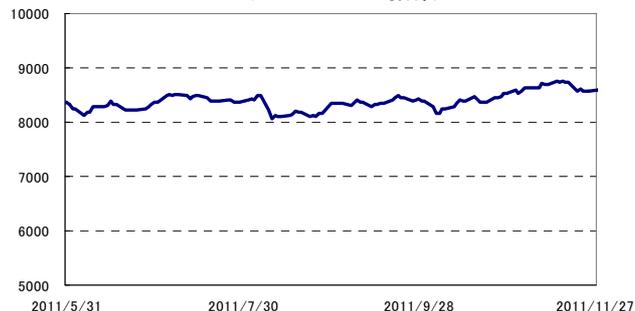
バーレーン全株指数



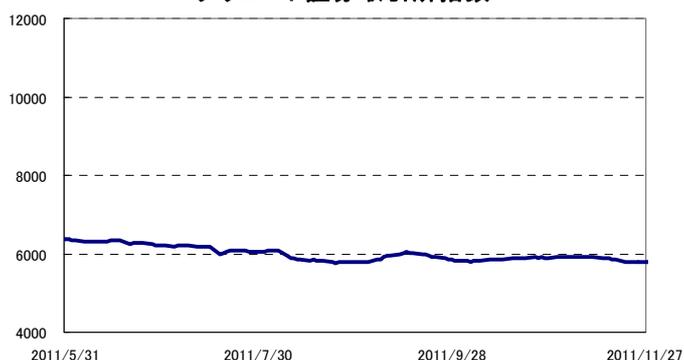
サウジアラビア タダウル全株指数



カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。